

令和3年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の年間計画

		子ども支援部会	暮らし支援部会	就労支援部会	権利擁護部会	相談支援部会
第1回	開催予定月	7月	6月	8月	9月	7月
	テーマ	医療関係者等より医療的ケア児に関することを学ぼう	地域生活支援拠点等の機能の充実について	障がい者の一般就労への道筋について考える	コロナ禍における障がい者虐待について	地域の取り組みから精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて考えよう
	開催目的	医療的ケアを必要とする児童の在宅生活の現状を知るとともに、療育に配慮すべき事項を学び今後の支援に役立てる。	西濃圏域地域生活支援拠点として障害福祉サービスを提供する事業所の登録が開始された。登録対象事業所間で意見交換を行い、拠点等の機能の充実に向けて検討をする。	福祉的就労から一般就労へステップアップしていくための課題について整理を行い、課題の共有及び好事例から支援方法を振り返り支援に役立てる。	新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、自宅や施設内で過ごす時間が長くなっている。全国的に障がい者への虐待が増加していると言われる中、虐待につながりそうな事象等を早期に発見して対応していく。	地域より精神障がい者の対応困難なケースの相談が増えている。地域での精神障がい者への対応事例より、地域で精神障がい者が自分らしく生活できるよう支援していく方法について考える。
	対象者	・障害児通所支援事業所 ・相談支援事業所 等	・市内地域生活支援拠点等登録対象事業所	・就労継続支援事業所（A型・B型） ・就労移支援事業所 等	・障害福祉サービス事業所 ・相談支援事業所 等	・民生児童委員 ・自治会長 ・相談支援事業所 ・保健所 ・精神科病院ケースワーカー 等
	協議内容	・在宅酸素取扱い事業者や補装具取扱い事業者、訪問看護事業所等が在宅生活する医療的ケア児にどのような支援をしているかを聞き取り、現状を知る。 ・発育や発達に影響を及ぼす可能性が高い事項や療育に配慮すべき事項等を学ぶ。	・西濃圏域地域生活支援拠点の登録をするうえで運用に不安な点等について意見交換をし、運用可能な方法等について検討する。 ・サービス未利用者のスムーズな対応、受入等に向けたフロー図、共通活用できる事項等を検討する。	・就労支援の現状について、給付費等の現状の報告（市役所） ・福祉的就労から一般就労につながった好事例の発表 ・福祉的就労から一般就労へステップアップしていくための事業所、利用者、家族の課題を協議し、どう働きかけていくとよいか協議する。	・長時間障がいのある方と接する中で発生するトラブル等について発見、共有する。 ・虐待と認識される事象について対応方法や改善について検討する。 ・令和4年度障害者虐待防止委員会の設置等の義務付けの周知を行う。	・地域で取り組んでいる精神障がい者への対応事例を紹介する。 ・精神疾患の特徴や対応方法について精神科病院のケースワーカーより学ぶ。 ・各立場でできる支援について話し合う。
第2回	開催予定月	1 1 月		11月	12月	1月
	テーマ	強度行動障がいへの対応について		工賃向上に向けアンテナを張ろう	親なき後を踏まえ、障がい者に係るトラブルについて学ぶ	相談スキルを学ぼう
	開催目的	行動障がいのある障がい児・者への関わりは難しく、事業所や家族が対応に苦慮しているという相談が増えている。強度行動障がいへの対応事例を学び、地域で受け入れできる体制づくりに役立てる。		賃金向上のため、各機関とのつながりを持ち、取り組みのヒントを得て、今後の業務につなげる。	障がいのある方につけこんだ金銭トラブルや犯罪被害が全国でみられる。親なき後、そのような被害に遭わないよう対応について学習する。	相談支援専門員の資質向上を目的として研修を行う。
	対象者	・障害児通所支援事業所 ・障害福祉サービス事業所 ・相談支援事業所		・就労継続支援事業所（A型・B型） ・就労移行支援事業所	・障害福祉サービス事業所 ・相談支援事業所 ・障がい者の親 等	・相談支援専門員
	協議内容	・各事業所の行動障がい児・者への対応困難事例等について現状を把握する。 ・強度行動障がい者を受け入れている事業所より受け入れの工夫や対応方法等を学ぶ。 ・受け皿が増えるよう働きかける。（新規参入の日中支援型共同生活援助事業所など） ・障害児通所事業所と障害福祉サービス事業所と障がい児の将来を見据えた支援についての意見交換を行う。		・特色ある商品開発や、販売促進につながる周知方法、工賃向上や販路拡大につながるヒントなどについて、関係機関（商工会議所やふるさと納税関係部署、農業関係）を招き、活用や連携方法について検討をする。	・警察や消費者センターの職員より障がい者特有のトラブル等の事例について講義を受け、対策について学ぶ。 ・支援者は親なき後のトラブルに遭わないような対策を障がい者やその保護者に伝えられるようにする。	・相談支援専門員が抱える困難事例を持ち寄り、意見交換や計画作成を行う。 ・他の相談支援専門員が取り組んでいる良い面を見つけ、自身にも取り入れる。 ・計画書やモニタリング報告書の活用、相談支援専門員の役割を再認識する。